

令和2年5月26日

石川県吹奏楽連盟に所属する すべての最上級生の皆様へ

石川県吹奏楽連盟理事長 田中一宏

中学校・高等学校3年生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大によって学校の臨時休業や部活動の制限など、現在も皆さんの日常生活に大きな影響を与えていることと思います。そのような状況の中、全日本吹奏楽連盟、中部日本吹奏楽連盟、北陸吹奏楽連盟の上位大会の中止を決定し、それを受けて、石川県吹奏楽連盟も10月までのコンクールを中心とした行事をすべて中止いたしました。参加予定であった皆さんはもちろん、来場するお客様やコンクールに関わる役員など多くの方々の生命と安全を守ることを最優先に考えた上での判断です。

3年生の皆さんにとっては、1、2年生と取り組む最後の吹奏楽コンクールを目標として毎日の練習に励み、努力を重ねてきた中でのコンクール中止の決定は、皆さんにとって、辛い気持ちや悲しみ、悔しさ等多くの様々な気持ちが交差していることでしょう。しかし、そんな中、今感じているその気持ちを受け入れて、認めていくことが大切です。そして、「新たな目標」に向かって、まずは、自分の気持ちに素直になり、身近にいる誰かに我慢せずにその想いを吐き出すことが、気持ちを切り替えていくための第一歩だと思います。

緊急事態宣言も解除され、私たちの生活も、新しい局面を迎えることでしょう。少しづつではありますが、吹奏楽部の活動も、以前とは違う形で再開されると思います。おそらく、顧問の先生方も、皆さんとの限られた時間の中で、「新たな目標」を持ち、皆様とそして後輩たちとともに、専門的な技術だけではなく、仲間を思いやる心、時間の大切さ、礼儀や目上の人を敬う心などを大切に活動していくことでしょう。

石川県吹奏楽連盟は、皆さんを最後の最後まで応援します。今だけではありません。皆さんがこのつらい時期を越え、来春、高校生、大学生、社会人になっても、当連盟は皆様方が「吹奏楽」「音楽」を愛することができるよう、様々な企画・コンサートを運営し、いつの日か互いに演奏でき、みんなで互いの演奏を聴き合えることができるよう、邁進します。

春は必ずや、やってきます。その日が来ることを信じ、学校の顧問の先生方、そして1、2年生の後輩とともに、吹奏楽の活動を通して、「次なるステージ」を目指し、進んでいってほしいと思います。